

# さいたま市教組新聞

さいたま市  
教職員組合  
TEL 641-6763  
FAX 648-3567  
Eメール saitama@kyouiku-net.org  
ホームページ  
http://saitama6763.web.fc2.com/  
2009.4.21(火)  
No.155

# みんなが行きたくなる学校を創りましょう

## 教職員が働きやすく、子どもたちが元気に通える学校を創るために

さいたま市教職員組合 執行委員長 山本悠子

四月八日。満開の桜の中、学校に子どもたちの元気な顔とにぎやかな声が、集まってきました。

「さんは、体全部を使って校歌を歌っていたよ。」

「新しいクラスと担任で、まだ緊張しているみたいだね。」

と職員室も子どももの話題でにぎやかでした。

廊下には

「今度の先生は・・・」

「さんとはちがうクラスになっちゃったよ。」と、子どもたちのおしゃべりの輪ができていました。



やはり学校は書類や会議よりも子どもたちのにぎやかな声が似合います。しかし、今の学校では

子どもたちに寄り添って、いっしょに何かを創り出して、いこうという時間も雰囲気もなくなっています。ことがとても気がかりです。

人事評価、教員免許更新制、研究指定・・・など、教職員は自分がやりたいことがやれない、言いたいことが言えない、環境に置かれています。

勤務時間が七時間五分になっても(これ自体は画期的なことですが)、

仕事が減らず人が増えなため、「働く時間が短くなって気持ちも体も楽になった。」という実感は全くと言っていいほどありません。

一方、子どもたちも、学力テストをはじめとする競争、授業時数や学習内容の増加、そして貧困の波の中で、大変生きづらい毎日をおくっています。

「つづいた中で、「今の学校は何かおかしい。」「教育はこのままでいい

の？」と感じている方がたくさんいることと思います。



わたしたちさいたま市教職員組合は、「おかしい！変だ！」「なんとかしたい！」という声を束ねて、みんなの願いが実現するよういろいろな活動をしています。

教職員が働きやすく、子どもたちが元気に通える学校にするために、たくさんの方に組合に入っていたり、心からお願いしています。

今年も、「明日も学校に行つて、子どもたちと会いたいな。」と思える学校を創るために、頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。

## 勤務時間の管理と調整のために割振り変更簿を

割振り変更簿の記入対象となる勤務は次の通りです。これらは県教委も認め、毎年実施している市教組と市教委との交渉でも確認しています。

職員会議、研修会、学年会、分掌の会議(教科部会、安全部、保健部、給食部、等)、校内委員会、生徒指導用務、

教育相談用務、保護者面談、進路指導の三者面談、家庭訪問、登校指導や下校指導、研究授業の指導案検討や作成、研究授業の教材研究等の準備、駅伝・サッカー・バスケット・水泳等の大会の練習、金管の練習、等で学校運営上必要な用務です。

## 学級びらき学習会



大いに学びました

## 授業で使う紙類は公費で！

みなさんの学校は、これから学校配当予算に関連して、教科等の予算、消耗品等の予算立てをすることとされています。

昨年度の市教委交渉で、市教委は「授業で使う紙類の代金を保護者から徴収するのは問題だ。当然公費で負担する」と回答しています。

近年、いろいろと保護者の負担が増えていきます。公費負担すべきものは、しっかりと公費で支出しましょう。